

# 「第2回 赤堀川水辺再生検討会」が開催されました！！

## 【開催概要】

開催日時：平成22年9月2日（木） 9：30～11：30

開催場所：桶川工業団地協同組合 会議室

出席者：地元自治会の代表、工業団地の代表、県民提案者、桶川市、埼玉県 ほか

主な内容： アンケート調査中間報告  
赤堀川の現地調査  
現況・課題の再整理  
課題への対応策・整備方針の検討  
今後の検討スケジュールについて



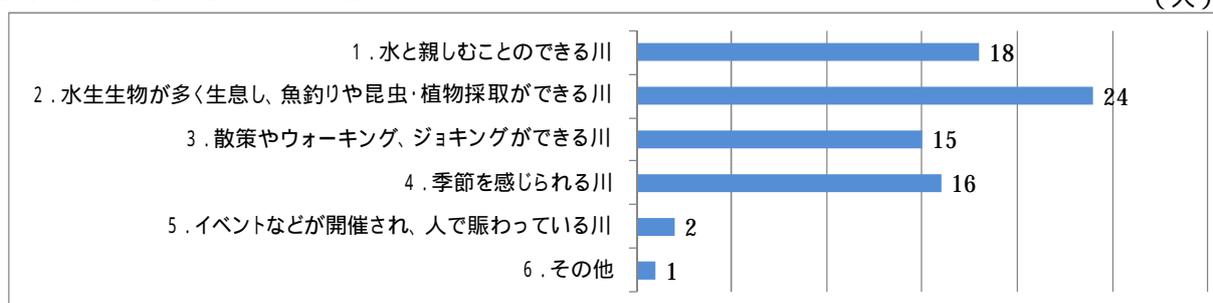
第2回検討会開催の様子

## 【第2回検討会の概要】

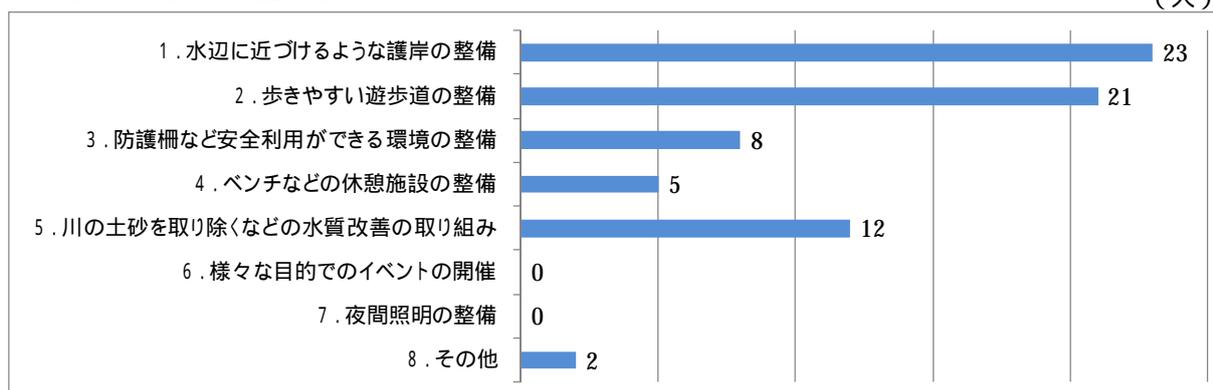
### アンケート調査中間報告

8月9日（月）より、約2週間の期間を設け、「水辺再生 100 プラン 赤堀川水辺再生に向けたアンケート調査」を実施しました。9月2日（木）時点で、33通の回収があり、回収率は約38%となっています。

### 【赤堀川の将来像について】



### 【赤堀川に必要な整備・取組みについて】



## 赤堀川の現地調査

検討会出席者全員による「赤堀川の現地調査」を行いました。現地調査を行う中で、以下の様な意見が出されました。(一部、抜粋)

### 親水性について

- ・河川側の法面（傾斜部）では背の高い植物が生い茂っており、容易に河川に近づくことができない。また、川面（水面）も見にくい状況にある。
- ・昔は木の丸太をベンチ代わりに利用していたが、雨等の影響で腐ってしまい、現在は利用されていない状態である。U字溝をベンチとして活用しているものもあるが、河川のイメージとして良くない。対候性のあるベンチの設置が望まれる。
- ・桜の枝が大きく張り出しており、顔や腕に当たるため歩きにくい。しかし、一方では桜の枝に触れられる環境が良いとの見解もある。 等

### 水質について

- ・河川の水は、目で見ただけで、美しいと感じにくい。
- ・夏場は、堰上げの影響により河川水面が高くなっている。また、河川の流れが滞留しており、水は茶色く濁っている。 等

### 自然環境（景観、生物・植物等）について

- ・過去に篠津橋付近に、アジサイを700本程度植えたが、ほとんど枯れてしまった。
- ・右岸側の河川敷全域にはヒガンバナが植わっている。
- ・河川側の法面の植物は「野鳥の会」の要望により、野鳥の生態系保全を図るため、草刈りを行っていない。
- ・赤堀川ではカワセミが観測される。篠津橋付近などの右岸側（民有林が生い茂っている箇所）において、巣があるのではないかとと思われる。
- ・かつては、加納橋付近まで桜が植わっていた。
- ・桜並木によって創出される日陰部分は、涼しく、気持ちが良い。 等

### 活動・利用について

- ・桜の木は大きく、また毛虫が好んで付くため、駆除などの維持管理が大変である。また、維持管理を行う際には、桜の木の枝が非常に邪魔になる。
- ・河川敷全域で立ち止まれる場所や溜まれる空間が少ない。休憩施設の整備が望まれる。
- ・いい桜を咲かせるためには、ある程度の枝の剪定が必要である。美しい桜並木が見られるのは、地元の維持管理がしっかりしているからである。
- ・桜まつりの観光者は、工業団地付近（上流）の道路に自動車を停車させて見学にくるが、ガードレールがあるため、河川敷に入るためには回り込む必要がある。
- ・赤堀川で子どもが遊んでいる姿を見ることはほとんどない。 等

### 現地調査の様子



## 現況・課題の再整理

第1回検討会で出された意見の確認及び現地調査を踏まえた上で、赤堀川の現況・課題について再整理を行いました。(一部、抜粋)

### 主な意見

- ・河川敷では歩きづらい所がいくつかみられる。
- ・河川へ下る傾斜部には草が生い茂っており、水面を見ることができない。
- ・河川区域全域において、雨に濡れても腐らないような休憩施設を整備して欲しい。 等

## 課題への対応策・整備方針の検討

赤堀川の現状・課題に対する対応策・整備方針について意見交換を行い、想定される整備内容等について、以下の様な意見が出されました。(一部、抜粋)

### 散策路の整備について

- ・河川区域全域(800m)での整備をしてほしい。
- ・管理自動車(2t)が通行できる幅員を確保してほしい。
- ・舗装面による日光の照り返し等で桜が傷まないか心配である。
- ・なるべく自然に近い形で、必要最低限の整備が望ましい。 等

### 階段の整備について

- ・調整池沿いの歩道に近づく傾斜部について整備をしてほしい。
- ・階段の幅員が広く、人が座れるようなベンチ式の階段を整備してほしい。 等

### 休憩施設の整備について

- ・耐候性のあるベンチを整備してほしい。
- ・弁財天付近については、さくらまつりの際にテント等を設置する関係で、可動式のイスとしてほしい。 等

### サインの整備について

- ・自然環境を阻害しないようなデザイン・仕様が望ましい。
- ・篠津橋付近や加納橋付近など、河川へのアクセスとなる場所へ設置することが望ましい。
- ・河川環境の保全を促す「啓発サイン」や河川に生息する生物等を示す「紹介サイン」の整備が必要である。 等

## 今後の検討スケジュールについて

第3回検討会では、主に「具体的な整備メニュー」と「維持管理計画」について検討をしていきます。(10月初旬の開催を予定)